

5G

ファイブ
グレード



道徳号

西東京市立芝久保小学校
第5学年だより
令和4年 1月15日

道徳授業地区公開講座を実施しました

今年度の道徳授業地区公開講座は、1月15日（土）の2校時に実施しました。今日の授業を通して、子どもたちに考えてほしいことをお伝えします。また、ご家庭でも、本日の授業についてのお話をしていただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

1 主題名 マークが伝えるもの（親切、思いやり）

2 ねらい

ピクトグラムにはどんな思いや考えが込められているかを考えさせ、相手の置かれている状況を自分に置き換えて想像し、思いやりの心を表そうとする心情を育てる。

■教材「マークが伝えるもの」のあらすじ

理子はレストランのメニューに卵や牛乳のマークが描いてあることに気づき、おばあさんに日本語がわからない外国の人には食材がわかって便利なのだと教えてもらう。おばあさんと話していくうちに、理子はピクトグラムを作った人の思いに気付くという内容である。

■ご家庭で話題にしていきたいこと

5年生くらいの子どもたちは、自分と他人とを別の存在であると区別しながらも、相手の立場を自分に置き換えて考えることができるようになってきます。また、生活面では、中学年と比べ、日々の中で過ごしたり訪れたりする場所の種類も少し増え、地域社会における他者とのつながりも広がってきています。この時期に、身近な相手だけでなく、自分が接する全ての人に思いやりをもつことについて考えを深めることが重要になります。

本日、今までの体験を思い起こさせながら、親切、思いやりを表そうとする心情を育てる授業を行いました。

ご家庭においては、日常的に顔を合わせて対話する相手に限らず、相手の立場に立って親切な心をもって接していくことについて話題にしていきたいと思います。